

卒後臨床研修センター

1. スタッフ

センター長 坂東 政司
(呼吸器内科・准教授)

研修プログラム責任者 早瀬 行治 (准教授)

特別客員教授 アラン・レフォー (教授)

副センター長 細谷 好則
(消化器外科・准教授)

西嶋 康一 (精神科・准教授)

新保 昌久
(循環器内科・講師)

大学病院連携キャリア支援担当

三瀬 順一 (准教授)

事務 渡辺 秀男
和久 信乃
池田 由佳

初期研修医 99名

2. 卒後臨床研修センターの特徴

平成16(2004)年4月に本館1階中央手術部跡地に設置され、平成17(2005)年2月に本館西棟3階に移転した。平成16年度から必修科された卒後2年間の臨床研修の管理が主業務である。研修医の採用、研修ローテーションの調整等の他、研修医向けの教育講演、セミナー等の開催も行っている。

3. 診療実績・クリニカルインディケーター

採用年度(平成)	16	17	18	19	20	21	22
募集定員	72	55	55	60	60	60	60 (56)
マッチング	47	54	55	60	60	56	43
採用者総数	50	52	55	60	60	56	41 (3)
シニア進級者	33	40	41	43	45	—	—

研修医出身大学

旭川医科大、弘前大、秋田大、岩手医科大、福島県立医科大、獨協医科大、筑波大、埼玉医科大、千葉大、東京大、昭和大、東京医科大、東京女子医科大、北里大、杏林大、東邦大、日本大、日本医科大、聖マリアンナ医科大、東京慈恵会医科大、横浜市立大、東海大、山梨医科大、新潟大、富山大、金沢大、金沢医科大、浜松医科大、川崎医科大、岡山大学、広島大、島根大、鳥取大、香川大、高知大、長崎大、佐賀大、大分大、宮崎大、自治医科大

4. 事業計画・来年の目標等

- 平成21年度(平成22年度採用者)のマッチング数及び受験者数の減少から、更なる研修医確保強化策を検討し実施する。
- 栃木県を通して県内出資医学部生へのPR強化、県内研修病院説明会への参加及び医学生向けの各科セミナー等を新たに企画し、見学者数及び受験者数の増加を図る。
- 研修環境の改善に向けて、指導医及び研修医の業務内容、指導体制、処遇等について検討し、病院全体への働きかけを行う。
- 卒後臨床研修センター体制強化を図る(メンター制の導入等)。